

平成26年度当初予算 施策 取組概要

324 中小企業の技術力向上支援と科学技術の振興

(主担当部局：雇用経済部)

- 32401 研究開発の推進 (雇用経済部)
- 32402 県研究機関による技術開発の推進 (雇用経済部)
- 32403 科学技術の担い手づくり (雇用経済部)

県民の皆さんとめざす姿

県内中小企業が、技術の高度化を図り、高付加価値化や新分野への展開に結びついていることで、地域の産業の活性化が進み、県民の皆さんの豊かさにつながる科学技術の進展に寄与しています。

平成27年度末での到達目標

県内の中小企業が、自らの技術課題解決や新たな分野展開に挑戦するための技術・開発力向上に向けて、県研究機関のハブ機能を生かして、共同研究などに積極的に取り組んでいます。

県民指標						
目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
中小企業等との共同 研究件数（累計）	/	30件	60件		90件	120件
	—	39件			/	/
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	県研究機関と県内中小企業等が産学官（産官）で連携しながら、新製品や新技術等の開発に取り組んだ共同研究の件数					
26年度目標 値の考え方	連携機能を生かした新たな共同研究先の開拓に取り組み、年30件の目標値を維持します。					

活動指標							
基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
32401 研究開発 の推進 (雇用経済部)	企業の課題解決数 (累計)	/	20件	40件		60件	80件
		—	23件			/	/
32402 県研究機 関による技術開発 の推進 (雇用経済部)	県研究機関におけ る新分野関連技術 開発件数（累計）	/	10件	20件		30件	40件
		—	12件			/	/
32403 科学技術 の担い手づくり (雇用経済部)	県民等の科学技術 に対する理解度	/	75.0%	80.0%		85.0%	90.0%
		67.3%	65.9%			/	/

進捗状況（現状と課題）

- ・企業ニーズに応じた段階的な課題解決型共同研究において、技術課題を支援しています（19件）。今後、さらなる企業における課題解決支援や提案に向けた課題発掘を実施するとともに、県・国等の補助金に申請し、不採択であった企業のフォローアップを行う必要があります。
- ・地域資源を活用した技術開発、新商品開発について、食品関連3件、陶磁器関連3件、鋳物関連3件の共同研究を実施しました（9月末採択数）。今後は、本事業での支援が、地域や業界の多様な主体が連携して技術ニーズを集約し、工業研究所の共同研究や各種支援業務を利用して解決を図り、地域の産業の活性化につなげていく必要があります。
- ・環境・エネルギー分野については、環境省の委託事業として実施している地域の技術シーズを活用した再エネ・省エネ対策フィージビリティ調査を進めつつ、今後、関係機関との連携を図り、委託事業によるニーズや技術情報の調査を効果的に実施するとともに、この動向も見据えながら研究開発事業の方向性を見極めていく必要があります。
- ・自動車の軽量化に向けては、「複合プラスチック」、「金属材料」、「接合・複合技術」、「CAE活用」、「電動・電装部品」の5つの研究会を通じて、県内企業に対する技術動向等の情報発信を行っています。今後は自動車産業に限らず、ものづくり全般に関する基盤技術の向上を図ることが必要です。
- ・新たに「3DCAD・CAE講座」を開催するなど、技術研修講座や先進技術セミナー、機器取扱講習会の開催により、中小企業技術者の育成を行っています。また、企業の課題解決を図る技術開発人材を育成するために、より多くの企業技術者の技術習得ニーズに対応する必要があります。
- ・工業研究所の施設公開では、「科学体験教室」を開催し、参加者が科学に興味を持ち楽しく科学体験ができる場を提供しました。科学技術に対する理解力は、昨年度より向上しましたが、目標達成には至らなかったため、さらに理解度向上へつなげる工夫を重ねていく必要があります。

平成26年度の取組方向

雇用経済部

- ・平成25年度に実施した可能性試験について、共同研究（研究プロジェクト）へ進展させることにより企業の課題解決につなげるとともに、外部機関への連携・PRなど、本事業内の支援メニューの活動効果を高め、事業スキームが連動していくよう効果的な事業運営を図ります。また、工業研究所のハブ機能を活用して、関係機関、特に（公財）三重県産業支援センターと連携を強化し、効果的な支援を行うことにより、企業の課題解決や新商品開発のステップアップをめざします。
- ・地域資源活用については、事業終了後も地域や業界の多様な主体が連携して技術ニーズを集約し、工業研究所の共同研究など支援業務を利用して解決を図る仕組みが継承されることをめざします。
- ・環境・エネルギー関連技術では、新エネルギーの導入に取り組む事業者等を支援するため、必要に応じた共同研究やプロジェクトの提案を進めます。
- ・県内企業のものづくり基盤技術の底上げを図るため、「設計」「生産技術」「評価・分析」の3つ研究会テーマの深堀りや研究会参加企業によるプロジェクト化等を進めていきます。
- ・企業技術者の育成については、研修講座とともに人材育成型共同研究メニューのPRを行うなど、共同研究へのステップアップ展開も図っていきます。
- ・科学体験教室については、子供の科学に対する興味をより深まるようテーマの内容を検討します。

雇用経済部

●食発・地域イノベーション創出支援事業【基本事業名：32401 研究開発の推進】

予算額：(25) 3, 570千円 → (26) 2, 226千円

事業概要：「みえ“食発・地域イノベーション”創造拠点」に整備された試験・研究機器を活用し、食品・薬事関連企業への技術支援等を実施することで、食品・薬事関連分野における新たな商品開発などを支援します。

●産業技術開発推進事業【基本事業名：32402 県研究機関による技術開発の推進】

予算額：(25) 5, 791千円 → (26) 4, 167千円

事業概要：地域産業におけるブランド創出や生産技術・材料開発技術の高度化を促進するために、県内産業が直面する技術課題の解決に向けた試験研究や技術開発を行います。

●中小企業の課題解決支援事業【基本事業名：32402 県研究機関による技術開発の推進】

予算額：(25) 30, 347千円 → (26) 28, 354千円

事業概要：県内中小企業が抱える課題を解決するため、新たな商品開発の支援や技術支援など、企業のニーズに応じた段階的な共同研究を実施するとともに、依頼試験や機器開放による技術支援にも取り組みます。また、研究開発を進めるにあたって必要な知識、機器操作等について基盤講座等を実施し、県内中小企業における技術開発人材を育成するとともに、中小企業の現場に職員が直接出向いて、企業技術者等の技術力向上や人材育成の積極的な支援を行う「出前講座」を実施します。

●(新)ものづくり基盤技術応用展開支援事業(再掲)

【基本事業名：32202 中小企業の基盤技術の高度化】

予算額：(25) — 千円 → (26) 4, 694千円

事業概要：多様な分野の県内ものづくり中小企業・小規模企業者に共通する基盤技術(設計、生産技術、評価・分析)に関する研究会を開催し、最新の知識習得、及び各企業における新たなチャレンジを支援することにより、開発力・生産力の向上を図ります。

●(新)海外・大都市圏を目指すグローバル食品の開発促進事業

【基本事業名：32402 県研究機関による技術開発の推進】

予算額：(25) — 千円 → (26) 1, 531千円

事業概要：三重県内のみならず、海外や大都市圏においても販売可能な県産食品を開発するために、多様な主体とともに、研究会や共同研究等を行い、課題を明らかにするとともに、広域流通を踏まえた技術開発や試作品づくりを行います。